



令和6年



毎月10日発行 No.329号 ☆広地区の人口 3月末☆

【編集・発行所】

広まちづくりセンター

〒737-0112

呉市広古新開2丁目1番3号

(電話)71-2151 (FAX)73-5034

(2月比)

人口 42,956 (-312)

●男 20,824 (-164)

●女 22,132 (-148)



わたしたちは父、兄弟、学校、先生を非難すべきだって教えられたわ。あなたの責任じゃないんだから自分を責めてはいけないってね。でも悪いのはあなたよ。もし変わりたいのなら、変えなければいけないのはあなたなんだから。
キャサリンヘップバーン

### ♪てるてる坊主 てる坊主～♪

6月といえば夏の前に発生する梅雨ですが、日本のほか中国・韓国・台湾・タイ・ベトナム・フィリピンなどアジアの一部の地域で見られます。自然の息吹が活気づく時期で、しっとりとした空気の中にも、緑が一層鮮やかに輝く季節ですね。自然の営みに触れることで、心も清々しくなります。

この季節になると、子どもの頃作った“てるてる坊主”を思い浮かべます。てるてる坊主由来は諸説あります。中国では村が連日続く雨により水害に陥ったときに、村に住む少女、



“掃晴娘”が、雨の神である龍神に雨を止めてくれるよう祈ったところ、天上から「龍神の妃になるならば雨を止める」という声が響き渡りました。掃晴娘はこれを承諾し、雨は無事に止んで空は晴れ渡りました。掃晴娘は天に昇ったため、その後どこにも姿が見えなくなりました。ここから晴天を願うために箒で雨雲をはらう美しい娘を模した紙または布で作られる人形を飾るようになったということです。では、中国では“娘”なのに、なぜ日本では“坊主”なのでしょうか？

その昔、雨続きの天気困った殿様が、お経を唱えることで、必ず晴れにするという有名なお坊さんに雨を止ませて欲しいとお願いしました。しかしお経を唱えても一向に降り止まない雨に怒った殿様は、そのお坊さんの首をはね、軒先に置いたところ、雨が止んだという言い伝えがあります。

童謡“てるてる坊主”の3番の歌詞に、“てるてる坊主 てる坊主 あした天気にしておくれ それでも曇って泣いてたら そなたの首をチョンと切るぞ”と、かなり物騒な歌詞が登場します。てるてる坊主は農家が雨を降らせるように祈願するために使われたとも言われ、雨が必要な時には顔が下を、晴れてほしい時は顔を上に向けるそうですよ。

館長・細川



## 広まちづくりセンターからのお知らせ 6月20日(木)受付開始の短期講座

### ①夏休み宿題攻略講座「絵画編」 ～ポスターの描き方を学ぼう～

対象 小学生(小学2年生までは保護者同伴)

日時 日程1 8月4日(日) 13:00～16:00

日程2 8月5日(月) 13:00～16:00

※いずれか1日を選んでください。

料金 500円 定員 各日とも15名(先着)



### ②手ごねパン講座 ～3色コロネをつくろう～

対象 小学生4年生～中学生  
(小学生は保護者同伴)

日時 7/7(日) 10:00～13:00

料金 1,600円(保護者不要) 定員 12名(先着)



### ③夏休み宿題攻略講座「書道編」 ～学年毎の題字と名前をきれいに～

対象 小学生～中学生  
(小学2年生までは保護者同伴)

日時 7/30(火) 10:00～12:00

料金 900円(保護者不要) 定員 15名(先着)



### ④己書で手描きうちわを作ろう

己書とは自らが思うがまま、自由に筆を走らせ、自分の世界観を楽しく表現する新感覚の書です。

対象 小学生以上  
(小学2年生までは保護者同伴)

日時 8/18(日) 10:00～12:00

料金 900円(保護者不要) 定員 10名(先着)



6月22日(土)実施予定の手ごねパン講座は、“じゃがベーコンチーズパン”を作ります。参加対象者は、小学生のみ(3年生以下は保護者同伴)、参加費は¥1,600に変更します。

## 広文連 春の文化祭 4月13日・14日

「春の文化祭」が無事に終了しました。例年のおり、舞台発表と作品展示(いけばな)です。

舞台発表では、短時間ではありますが、続々と出てこられる団体・パフォーマーの皆さんが多種多様でした。関係者のみならず、もっと多くの方々に見てもらえればと思いました。特に子どもたちのダンスは、その活動量に魅せられるものがあります。

作品展示は、今年度、華道(いけばな)のみ4つの団体からの出品となりました。日々の研鑽の成果を発表していただきました。

文化祭は大成功で終了させていただきました。これもお来場いただいた観客の皆さま、ご出演いただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまのおかげです。この場を借りて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

館長・細川



# 広まちづくりセンター短期講座訪問

## ⑥キラキラシェイカーキーホルダーづくり

講師の甲斐樹里さんはイベントやインターネット通販でも活動されているハンドメイド作家さんです。このような講座を担当するのは初めてですが、こどもたちが楽しんで分かりやすいようにといろいろと準備をしてくださいました。



今回のキーホルダー作りは好きな色で色づけしたレジン液で型をとり、その中に自分が選んだビーズやスパンコールなどシャカシャカ部分を入れます。何度もLEDで硬化したり、それをまたヤスリ等で整えたりと、たくさんの工程があります。年長さんから中学生までが参加してくれて、初めて会うお友達と話したり、どんな色にするか悩んだり、みんな楽しそうに取り組んでいました。

一人ずつ好きな色を選んだり、先生が仕上げに回ったりしていたので、少し時間がかかってしまいましたが、みんなかわいくてかわいい世界に一つだけのキーホルダーができました。

とても人気のある講座で募集からすぐに定員に達してしまいましたので、また甲斐さんにぜひ講座をしてもらいたいと思っています。たくさんの参加をお待ちしています！

### “感想をありがとう!”のコーナー

㊦

○たのしかった。○キーホルダーがつくれてうれしかった。○選ぶものがたくさんあり楽しかった。○かざりをいれるのがたのしかった。○レジンの液体を入れるのが楽しかった！○自分で材料を選んで楽しく作れました。○ずっとしゃかしゃかキーホルダーが作りたいていと言っていたので、参加させることができよかったです。○変なところがあっても快く対応してくれた。



**広まちづくりセンター休館日**  
**6月は24日(月)です**

# 広スポーツ協会からののお知らせ

## 令和6年度(第55回) 広近郊オープン卓球大会

日時：令和6年7月15日(月・祝)10時開始  
会場：呉市総合体育館(シンヨーオークアリーナ)メインアリーナ



### 参加資格：

- (1)広地区及び広地区に隣接する地区(阿賀地区・郷原地区・仁方地区)に 在住する者
- (2)広地区の事業所、学校、官公庁、商店等に勤務する者
- (3)広・阿賀・郷原・仁方まちづくりセンター卓球教室生徒及び指導講師等
- (4)広地区及び広地区に隣接する地区(阿賀地区・郷原地区・仁方地区)の学校等に在籍する学生・生徒

参加費：一般の部 500円 中学生以下の部 200円  
当日、受付にて徴収、当日棄権は参加費徴収。

申込先：広スポーツ協会事務局(呉市広まちづくりセンター内)に所定の申込書を提出してください。

☎71-2151 FAX 73-5034

申込期限：令和6年6月16日(日)17時 期限厳守



# 広図書館からののお知らせ

開館時間 9時30分~20時00分  
休館日：木曜日・祝日  
6月の休館日：

6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)

### \*ババールのえほんかい

日時 6月22日(土)10時30分~11時10分  
場所 広市民センター6階 和室(604室)



# ウォーキング大会のお知らせ

- ◎開催日 令和6年6月18日(火)
- ◎集合場所 広市民センター
- ◎集合時間 午前9時00分

## コース 安芸の小須磨ウォーク 10キロ

広市民センター ~ 長浜 ~ 小坪  
安芸の小須磨 ~ JR仁方駅(解散)



※天候その他の諸事情により、中止やコースが変更になる場合もあります。

\*問い合わせ ☎ 堀：080-1919-6088

\*レクリエーション保険加入の為受付で記名願います。

# ひろ協働センターからののお知らせ

ひろ協働センターフリースペース内で、呉市内のまちづくり協議会やまちづくり委員会の活動ポスター展を開催しています。

呉市内には地域ごとにまちづくり活動をしている協議会や委員会があり、呉市市民協働センターのスタッフが取材し、活動についてのお話を聞いたり、イベントの様子を撮影して、ポスターにまとめています。

ひろ協働センターにお越しいただき、活動の様子をご覧ください。

日時 6月末まで毎日(水曜日休館)  
場所 ひろ協働センターフリースペース(広市民センター4階)

電話 ひろ協働センター ☎ 0823-71-0321



# “ひろひろ・ば”からののお知らせ

## 令和6年度 第1回パパ講座



子育てや家族との時間を楽しみたい男性を応援します。

対象 0~2歳児のパパ・祖父  
日時 令和6年6月29日(土)  
10:00~11:30

場所 ひろひろ・ば 研修室  
内容 かよちゃん(公認心理師)に聴いてみよう!

定員 15名 料金 無料  
申込: 二次元コードからお申し込みください。  
※要予約

呉市すこやか子育て支援センター『ひろひろ・ば』  
電話: 76-1616 メール: kosodate@key.ocn.ne.jp



# 編集後記 ~ “天岩戸開き”のおはなし~



梅雨の季節だが、日本神話の中には自然現象と関連した話がある。ある日、天照大御神(あまてらすおみかみ)という女神様が弟の須佐之男命(すさのおのみこと)とけんかをした。天照大御神は怒って天岩戸という暗い洞窟に隠れた。天照大御神は、太陽の女神・天候を司る神なので、世界は暗闇に包まれ、人々は大変困った。そこで、須佐之男命は稲の穂を櫛に変えて音を立て、洞窟から天照大御神を引き出そうとした。その音に興味を持った天照大御神は洞窟から顔を出すと、美しい装束や鏡が見えたので洞窟から出てきた。世界は再び明るくなり人々は安心した。いまこそ明るくて安心な未来が望まれるなあ…。㊦